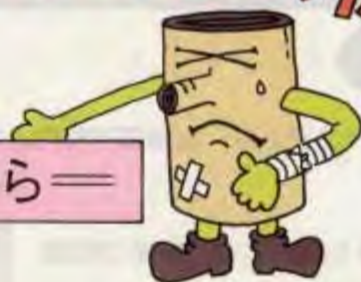


高齢カラマツ林の被害

＝最近の事例から＝



エゾヤチネズミ

このネズミは冬に造林木をかじって枯死させたりします。その被害は中高齢期を迎えたカラマツ林に近年多く見られるようになりました。

林業試験場では、平成元年度から総合的な被害防止対策の確立をめざして研究を進めています。これまでの調査では、同じ木がくり返して被害を受けることなどを明らかにしてきましたが、ひきつづき発生要因や被害がもたらす影響などを調べています。



くり返し食害された造林木



被害の影響を調べるための人工伐採試験



ミスジツマキリエダシャクの幼虫



ミスジツマキリエダシャクの被害林分

ミスジツマキリエダシャク

このエダシャクはカラマツの食葉性害虫のなかで、木を枯死させるおそれがある種類です。平成元年以降、札幌市や網走東部地方の比較的高齢の林分に発生していますが、被害が小面積に散在するため、薬剤による防除は困難な状況です。

林業試験場では、今年度からこのエダシャクの天敵についての調査を開始し、天敵による効果的な防除方法の確立をめざして研究を進めています。